

5. 診 療

1) 病院概況

- (1) 本 院 (院 長：井田博幸
副 院 長：山本裕康・小島博己・瀧浪将典・中野 匡・安保雅博・小澤かおり
事務部長：横山秀彦)

(1) 患者数

- ① 外来1日平均患者数：2,740名 (対前年度比-53名)
- ② 入院1日平均患者数： 890名 (対前年度比±0名)

(2) 病床利用状況

病床利用率は84.4% (稼働床：4月～12月1,050床、1月～3月1,070床、昨年比-0.4p)、平均在院日数は、12.4日 (昨年比-0.1日) であった。

(3) 紹介率・逆紹介率

紹介率は年間平均で医療法74.7% (昨年比+2.8p)、保険法74.2% (昨年比+2.1p) であった。逆紹介率は医療法50.1% (昨年比-0.2p)、保険法51.3% (昨年比+0.3p) であった。

(4) 保険関係承認・届出関係

- ① 後発医薬品使用体制加算2 (2019年6月1日) ※変更
- 後発医薬品使用体制加算3 (2019年4月1日) ※変更
- ② 小児入院医療管理料2 (2019年4月1日) ※変更
- ③ 内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘 (亜全摘) 術 (両葉)、内視鏡下副甲状腺 (上皮小体) 腺腫過形成手術 (2019年4月1日) ※新規
- ④ 内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術 (2019年4月1日) ※新規
- ⑤ 急性期看護補助体制加算 (25対1・看護補助者5割以上) (2019年5月1日) ※変更
- 急性期看護補助体制加算 (50対1) (2019年10月1日) ※変更
- ⑥ 神経学的検査 (2019年5月1日) ※変更
- ⑦ 認知療法・認知行動療法1 (2019年5月1日) ※新規
- ⑧ 地域歯科診療支援病院歯科初診料 (2019年6月1日) ※新規
- ⑨ 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (便失禁) (2019年6月1日) ※新規
- ⑩ 看護職員夜間配置加算12対1配置加算1 (2019年7月1日) ※変更
- 看護職員夜間配置加算16対1配置加算1 (2020年1月1日) ※変更
- ⑪ 骨髄微小残存病変量測定 (2019年7月1日) ※新規
- ⑫ 特定集中治療室管理料1 (2019年8月1日) ※変更
- ⑬ 胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術 (2019年8月1日) ※新規
- ⑭ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの) (2019年10月1日) ※新規
- ⑮ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 (2019年11月1日) ※新規
- ⑯ 緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの)) (2019年12月1日) ※新規
- ⑰ 自己生体組織接着剤作成術 (2019年12月1日) ※新規
- ⑱ 自己クリオプレシピレート作製術 (用手法) (2019年12月1日) ※新規
- ⑲ 国際標準検査管理加算 (2020年1月1日) ※新規
- ⑳ 療養環境加算 (2020年1月1日) ※変更
- ㉑ 重症者等療養環境特別加算 (2020年1月1日) ※新規
- ㉒ 無菌治療室管理加算1・2 (2020年1月1日) ※新規
- ㉓ 薬剤管理指導料 (2020年1月1日) ※変更
- ㉔ 検体検査管理加算 (I)・(IV) (2020年1月1日) ※変更

- | | | |
|---|------------------------|-----------------|
| ⑫ | 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト | (2020年1月1日) ※変更 |
| ⑬ | 補聴器適合検査 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ⑭ | CT撮影及びMRI撮影 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ⑮ | 冠動脈CT撮影加算 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ⑯ | 心臓MRI撮影加算 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ⑰ | 外来化学療法加算1 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ⑱ | 無菌製剤処理料 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ⑲ | 心大血管疾患リハビリテーション料 (I) | (2020年1月1日) ※変更 |
| ⑳ | 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) | (2020年1月1日) ※変更 |
| ㉑ | 運動器リハビリテーション料 (I) | (2020年1月1日) ※変更 |
| ㉒ | 呼吸器リハビリテーション料 (I) | (2020年1月1日) ※変更 |
| ㉓ | 障害児(者)リハビリテーション料 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ㉔ | がん患者リハビリテーション料 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ㉕ | 集団コミュニケーション療法料 | (2020年1月1日) ※変更 |
| ㉖ | 特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1) | (2020年2月1日) ※変更 |
| ㉗ | 急性期看護補助体制加算(50対1) | (2020年2月1日) ※変更 |
| ㉘ | 看護職員夜間配置加算16対1配置加算1 | (2020年2月1日) ※変更 |
| ㉙ | 病棟薬剤業務実施加算1・2 | (2020年2月1日) ※変更 |
| ㉚ | 入退院支援加算 | (2020年2月1日) ※変更 |
| ㉛ | 新生児特定集中治療室管理料1 | (2020年2月1日) ※変更 |
| ㉜ | 新生児治療回復室入院医療管理料 | (2020年2月1日) ※変更 |
| ㉝ | 小児入院医療管理料2 | (2020年2月1日) ※変更 |
- (5) 先進医療
新規申請・承認(申請1件、承認1件)
・胃上皮性病変に対するプローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡の診断能に関する多施設前向き研究(内視鏡部)
- (6) 臨床研究・保険適用外診療
・承認件数:新規申請154件、変更申請(期間延長など)133件
- (7) 指導・監査
- | | | |
|---|---|--------------|
| ① | 医療法第25条第1項による立入検査(東京都) | (2019年11月5日) |
| ② | 医療法第25条第3項による特定機能病院立入検査(関東信越厚生局) | (2019年11月5日) |
| ③ | 精神病院等実地指導(東京都) | (2019年11月5日) |
| ④ | 医療法第19条の2第2に基づく医療安全監査委員会を次の通り開催した。
第1回:2019年9月12日(木)
第2回:2020年3月2日(月) | |
- (8) 医療安全
- | | |
|---|--|
| ① | 職員個人の安全確保に対する意識向上への取り組み
安全確保のために、個人の意識を高め基本的な安全推進活動を習慣化させることが重要と考え、各種委員会、研修会、部署別研修会などにおいて、チェックバック、名前の確認、ハンドオフ、指さし声だし確認などの基本的な安全確認行為の実演を必須とし、習慣化につなげる取り組みを行った。 |
| ② | 診療情報の共有強化に向けた取り組み
・診療情報の非共有による事故を防ぐため、画像診断報告書や病理診断報告書の患者への原則公布を普及すると共に、1患者に対し、3か月以内に未読のレポートがある場合、電子カルテの患者画面に一覧で表示されるようシステムの改修を行った。また、医師事務支援室の対応に関する質問に対し確認をおこなうなど連携を強化した。
・緊急入院患者の申し送りを徹底する目的で「ハンドオフシート」のシステム改修を行っ |

た。システム改修によって、入院申込画面から円滑にハンドオフシート記載画面へ切り替わる仕組みにし、現場がより活用しやすいよう環境整備を行った。また、作成したハンドオフシートを印刷し、紙媒体で申し送りするよう運用も変更した。

③ Team STEPPSの活用に向けた取り組み

Team STEPPS エッセンシャルコースを年間3回（年間参加者176名）開催し、概念の浸透を強化するとともに、Team STEPPS アドバンスコースを年間3回（年間参加者133名）開催し、実践への連結強化をはかった。

④ 安全文化の醸成を目指した研修会開催

職員対象のセーフティマネジメント基礎研修会を年間15回（感染対策ベーシックレクチャー合同研修含む）、4病院合同セーフティマネジメントシンポジウムを年間1回行い、医療安全に関する総合的な知識の普及をはかった。また、職種や経験別に、管理者のための医療安全・感染対策研修会、初期臨床研修医対象研修会、レジデント対象研修会、新規採用教職員・転入職員対象研修会、委託・派遣職員対象研修会などを行った。

⑤ セーフティマネージャーを主体とした活動

医療安全推進活動の主体をセーフティマネージャー（SM）と位置づけ、SMが主体となり、院内全部署を一年間かけてラウンドすることで安全な医療体制の構築に努めた。またSMを中心に転倒転落・薬剤・中心静脈挿入・その他のワーキンググループを作り、それぞれに特化した集中的な安全推進活動を行った。

⑥ 個別対応の強化を目指した活動

個々の医療事故イベント防止を目指して、それぞれのイベントに特化した以下の研修会を行った。医薬品安全使用セミナーを10回開催、またインスリンの安全使用・医療用麻薬の安全管理に関する講習会を各病棟にて開催した。その他、褥瘡、栄養管理、脳卒中などについて、それぞれの担当部署と共同したセミナーを開催した。

⑦ 他病院との連携強化に向けた取り組み

慈恵医大附属4病院間では定期的な4病院セーフティマネジメント会議を開催し、問題点の共有を図るとともに、相互ラウンドによる相互チェックを行った。慈恵医大附属4病院以外では、都内の私大病院間の連携強化を目的とした都内私大病院安全連絡会議（COMPASS）を、また全国私大病院間での医療安全連絡会議への参加及び連携強化を目的とした相互ラウンドを、がん研究会有明病院及び大阪医科大学附属病院と行った。

⑧ 特定機能病院承認要件の院内周知

特定機能病院の承認要件について全教職員への周知を各種委員会・会議、研修会にて行った。

(9) 感染対策

① 多剤耐性菌対策の強化

MBL対策を強化実施しており、病棟ICT活動を中心とした標準予防策実施の強化、抗菌薬適正使用の推進、環境整備の強化について引き続き取り組みを行った。

② 新興感染症、インフルエンザ、麻疹など持ち込み感染症対策の強化

・2019年12月に確認されたCOVID-19の流行に伴い、外来・病棟の体制整備を行った。外来、入院患者の受け入れを行い、感染症協力指定医療機関としての役割を果たした。

③ 現場主体的感染対策を推進し強固な感染対策システムを構築する

・感染対策講習会開催回数：101回、のべ受講者人数：7,859人
・全病棟における病棟ICTカンファレンス2回/年継続実施
・小児ICT活動の活性化

④ 学術活動を強化し我が国の感染対策をリードする

・私立医科大学感染対策協議会事務局・推進会議事務局として総会、運営委員会、各専門職部会等の運営について中心となり活動を行った。

1) 2019年8月17日 日本大学医学部附属板橋病院にて総会開催

2) 運営会議1回/年開催

3) 大阪医科大学附属病院と相互ラウンド実施

4) 改善支援1校に対し実施

・感染防止対策加算病院との連携、支援

感染防止対策加算Ⅱ病院と年3回(3月開催予定であった4回目はCOVID-19流行拡大のため中止)のカンファレンスを開催するとともに、感染防止対策加算Ⅰ病院(東京済生会中央病院、東急病院)と相互ラウンドを実施した。

(10) 患者支援・医療連携センター

- ① 連携登録医制度の登録医拡大を図った。新規登録医件数58件、合計572件。
(2020年3月末時点)
- ② 新外来棟開院に伴い、外来棟1階1Jに移転した。またグリーンカウンターを改組し、入退院支援室を設置した。
(2020年1月)
- ③ 「2人主治医制」による紹介、逆紹介推進に向けリーフレットの配付、ホームページ掲載による広報、周知を継続し、地域の医療機関との連携促進を図った。
- ④ 治療と就労の両立支援制度の運用を促進した。
- ⑤ 診療のご案内2019を発行した。
(2019年7月)
- ⑥ 患者支援・医療連携センターだより「つなぐ つながる」を発行した。
・No.18(2019年7月)、No.19(2020年1月)
- ⑦ 附属病院広報委員会の協力のもと医療情報誌「頼れるドクター」に当院紹介記事掲載し、新外来棟、母子医療センターリニューアルの広報を行った。
(2019年12月25日)
- ⑧ 区中央部糖尿病医療連携検討会の事務局を患者支援・医療連携センターが担当した。
・総会、作業部会(2回)を開催した。市民公開講座、医療従事者対象研修会は2020年2月29日に予定していたが、新型コロナウイルス感染の影響により中止とした。
・市民向け広報紙を作成、発行した。
(2019年7月～2020年2月)
- ⑨ 第40回慈恵医大夏季セミナー・東京慈恵会医科大学附属病院医療連携フォーラムを開催した。
・2019年8月1日(土)、大学1号館講堂(3階)・2号館講堂、参加者239人
生涯学習センターと共同で、慈恵医大夏季セミナーの企画を拡大し、講演会と懇親会の構成で開催した。懇親会では診療機器、医療連携ブースの企画展示を行った。
- ⑩ 「働く人の健康支援研究会」を開催した。
・第11回:2019年9月20日、参加者182人、企業におけるアレルギー対策を考える
・第12回:2020年2月21日、健診“再試”の二次検査
※第12回は新型コロナウイルス感染発生のため中止とした。
- ⑪ 地域包括ケア研修会を開催した。(港区、港区医師会との共催)
・第1回:2019年7月19日、リハビリテーション～退院前評価－医療と地域の意見交換～大学1号館講堂(3階)、参加者123人
※第2回、第3回は本学の対応はなし。
- ⑫ 子ども虐待対応チーム(CAPS)主催研修会を開催した。
・「各科における虐待対応、CAPSチームの運用について」
(2020年2月20日、新型コロナウイルス感染発生のため中止とした。)
- ⑬ 国際医療支援に関する以下の項目を実施した。
・医療通訳端末(ME LON)について、iOS版の実証実験を9月から12月に実施し、2020年4月から導入することとした。
・医療渡航支援事業者の鴻野国際医療株式会社と新たに業務提携契約を締結した。
(2019年11月1日)
- ⑭ メディカルノート株式会社と生命保険等の契約者向けの医療機関紹介サービスへの業務協力について合意書を取り交わした。運用開始は2020年6月の予定である。
(2020年3月)

(11) 治験センター

- ① 治験の実施:前年度からの継続73件、新規承認24件(前年比+11件)、終了21件(±0件)であった。うち、医師主導治験は5件(+2件)であった。
- ② 臨床試験への実施支援:1件
臨床試験におけるCRC(Clinical Research Coordinator:臨床研究コーディネーター)の支援内容は、治験と同じく被験者対応、スケジュール管理や、データ収集と文書管理等であった。その他、CRCがモニタリング担当者としてその業務を行った。:2試験
- ③ 臨床研究支援センターおよび倫理委員会事務局、CRB事務局との連携
倫理委員会事務局業務、CRB事務局等の支援を目的に、CRCおよび治験事務局スタッフが臨床研究支援センターと連携して、倫理委員会事務局、CRB事務局業務に支援・協力した。

(12) 地域がん診療連携拠点病院(腫瘍センター事務局)

腫瘍センター事務局として地域がん診療連携拠点病院の指定要件整備と機能強化を推進した。「生活のしやすさに関する質問票」を用いた苦痛のスクリーニング実施、緩和医療の提供を行っている他施設との連携を強化し、内外部の対象患者への対応について更なる改善が施された。その他、院内がん登録3,051件、がん相談1,413件、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会2回開催、市民公開講座1回開催、腫瘍センターセミナー2回開催、腫瘍センターサロン交流会(がん患者とその家族の語らいの場(含むミニ講座))53回開催の実績を残した。5大がん+前立腺がんのクリティカルパスの運用実績は28件であった。

(13) 患者サービス

- ① 入院患者向け移動水族館を実施した。(2019年10月31日)
- ② 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第58号から第62号を発刊した。
- ③ 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第55号から第57号を発刊した。
- ④ 2019年度「みんなの健康教室」を以下の日程で開催した。
※NHK放送博物館と共催(患者支援・医療連携センター担当)
年間テーマ「未病、予防のための体の知識」
・第1回 2019年5月18日(土)(36名参加)
・第2回 2019年7月20日(土)(39名参加)
・第3回 2019年9月21日(土)(65名参加)
・第4回 2019年11月2日(土)(29名参加)
・第5回 2020年1月11日(土)(35名参加)
・第6回 2020年3月14日(土)(中止)
※第6回は新型コロナウイルス感染発生のため中止とした。

(14) 診療体制の整備

- ① 2020年1月4日に新病院を開院した。
- ② 病院救急車輛の運用は、小児科を中心とした患者搬送を7件(要請15件)行った。

(15) 工事関係

- ① E棟7階デイルーム改修及び新外来棟との連絡通路増設 (2019年11月7日)
- ② 新外来棟中央検査部等の先行使用開始 (2019年11月7日)
- ③ 新外来棟・N棟放射線関連機器(新設)の使用開始 (2019年11月22日)
- ④ 新外来棟・N棟の使用開始 (2019年11月28日)
- ⑤ E棟7階デイルーム改修及び新外来棟との連絡通路増設 (2019年12月5日)
- ⑥ 新外来棟・N棟放射線関連機器(移設)の使用開始 (2019年12月18日)
- ⑦ 中央棟4階-新外来棟間の連絡通路増設 (2019年12月23日)
- ⑧ 中央棟4階-新外来棟間の連絡通路増設 (2020年1月10日)
- ⑨ F棟1階用途変更及び新外来棟6階細胞加工施設新設工事 (2020年2月13日)
- ⑩ 中央棟5階アイソトープ病棟の改修工事 (2020年2月18日)

- ⑪ E棟1階クリーニング店移設 (2020年2月26日)
- ⑫ 新外来棟地下1階第1照射室の使用開始 (2020年3月4日)
- ⑬ E棟1階クリーニング店移設 (2020年3月19日)
- ⑭ 中央棟5階アイソトープ病棟の改修工事 (2020年3月26日)
- (16) 東京都赤十字血液センターによる献血が実施された。
2019年5月29日(水)、5月30日(木) 献血者88名(申込者数108名)
- (17) 「東京慈恵会医科大学附属病院年報」の発刊
2018年度版を2019年11月に発刊した。
- (18) 臨床研修
2019年度臨床研修採用者は、医科23名(内訳:本学卒9名、他学卒14名)、歯科3名の計26名であった。
- (19) 研修会・講習会
- ① がんに関わる医師に対する緩和ケア研修会(年度2回)
- ・第22回緩和ケア研修会 2019年10月6日(日) 於:1号館6階実習室
修了者:医師19名(本学13名)
 - ・第23回緩和ケア研修会 2020年1月25日(土) 於:1号館6階実習室
修了者:医師44名(本学43名)
- ② 慈恵ICLSコース, 慈恵BLSコース
- ・慈恵ICLSコースを5回開催した。
 - 日時:2019年6月22日(土) 午後1時30分~午後6時 葛飾 参加22名
 - 日時:2019年7月6日(土) 午後1時30分~午後6時 本院 参加24名
 - 日時:2019年9月14日(土) 午後1時30分~午後6時 第三 参加23名
 - 日時:2019年11月9日(土) 午後1時30分~午後6時 柏 参加23名
 - 日時:2020年2月8日(土) 午後1時30分~午後6時 本院 参加23名
 - ・ICLS指導者ワークショップ(インストラクター更新要件)を2回開催した。
 - 日時:2019年7月5日(金) 午後6時~午後10時 本院 参加10名
 - 日時:2019年7月6日(土) 午前8時~午後0時
 - 日時:2020年2月7日(金) 午後6時~午後10時 本院 参加10名
 - 日時:2020年2月8日(土) 午前8時~午後0時
 - ・慈恵BLSコースを年間2回開催した。
 - 日時:2019年7月20日(土) 午後3時~午後5時 参加15名
 - 日時:2019年10月19日(土) 午後3時~午後5時 参加13名
 - ・PBLコース(小児心肺蘇生コース)を3回開催した。
 - 日時:2019年7月20日(土) 午後1時~午後3時 第三 参加6名
 - 日時:2019年9月21日(土) 午後1時~午後3時 葛飾 参加6名
 - 日時:2019年11月9日(土) 午後1時~午後3時 葛飾 参加16名
 - ・JAMPコース(緊急気道管理コース)を4回開催した。
 - 日時:2019年6月15日(土) 午後1時~午後7時 柏 参加17名
 - 日時:2019年8月3日(土) 午後1時~午後7時 本院 参加19名
 - 日時:2019年10月5日(土) 午後1時~午後7時 第三 参加10名
 - 日時:2019年12月7日(土) 午後1時~午後7時 葛飾 参加17名
 - ・心肺蘇生に関する家族参加型市民公開講座を4回開催した。
 - 日時:2019年4月6日(土) 午後1時~午後2時 参加5名
 - 日時:2019年6月8日(土) 午後1時~午後2時 参加5名
 - 日時:2019年8月10日(土) 午後1時~午後2時30分 参加43名
 - 日時:2020年2月15日(土) 午後1時~午後2時 参加9名

- ③ 保険診療に関する講習会
- ・第1回2019年4月26日(金)「保険診療の基礎講習会」 2号館講堂
 - ・第2回2019年5月27日(月)「診療録の書き方講習会」 大学1号館講堂
 - ・第3回2019年7月16日(火)「外科系アドバンスコース講習会」 大学1号館講堂
 - ・第4回2019年9月11日(水)「内科系アドバンスコース講習会」 2号館講堂
 - ・第5回2019年10月21日(月)「指導の立場から」 大学1号館講堂
 - ・第6回2019年12月16日(月)「保険診療の理解のために」 2号館講堂
 - ・第7回2019年12月17日(火)「査定の傾向と対策、PET算定要件、診療録監査実施報告」 1号館講堂
 - ・第8回2019年2月10日(月)「保険診療のウソ?ホント?」 大学1号館講堂

(20) 慈恵医大晴海トリートメントクリニック(所長:横山啓太郎)

- ① 外来1日平均患者数77人(対前年比±0人)
- ② 健診1日平均健診者数23人(対前年比+1人)

(21) 港区立がん在宅緩和ケア支援センター「ういケアみなと」(施設長:岩田真)

- ① 開設2年目、年間来館者数1,999人 対前年度比 109%
- ② 年間がん相談件数総数306件(面談187件 電話119件) 対前年度比125%
- ③ 生活の質向上セミナー(看護師)を年間10回開催した。 参加者 79人
- ④ 栄養セミナーを年間10回開催した。 参加者 215人
- ⑤ リハビリテーションセミナーを年間11回開催した。 参加者 80人
- ⑥ アピランスセミナーを年間1回開催した。 参加者 16人
- ⑦ 両立支援セミナーを年間5回開催した。 参加者 78人
- ⑧ 医師による緩和ケア区民講演会を年間4回開催した。 参加者 92人
- ⑨ 訪問看護ステーションや介護事業所向けのがん在宅緩和ケアに関する研修会を年間4回開催した。 参加者 71人
- ⑩ がん予防に関する啓発事業として以下の事業を行った。
 - ・高輪地区の3大学(北里大学、東海大学、明治学院大学)を対象にした施設見学会 参加者 11人
 - ・港区内公立小学校養護教諭対象のがん教育講習会 参加者 21人
 - ・港区内公立小学校高学年の児童と保護者対象のがん教育イベント 参加者 14組31人
- ⑪ その他の事業を年間4回開催した(笑いヨガ1回、ボイストレーニング1回、ういケアみなと落語会1回、リラクセスエクササイズ1回、) 参加者 60人
- ⑫ がん対策みなと2019年10月5日(土)に出展した。
- ⑬ 第136回成医会総会2019年10月10日(木)~11日(金)にてポスター発表を行った。

(2) 葛飾医療センター(院長:吉田和彦、
副院長:児島章、根本昌実、飯田誠、
事務部長:伊藤敬夫、
看護部長:玉上淳子)

- (1) 患者数・病床利用状況
 - ・1日平均患者数は外来1,192名(前年度比+20名)、入院324名(前年度比-8名)であった。
 - ・病床利用率は稼働床367床に対して88.3%(前年度90.8%)、平均在院日数は10.9日(前年度11.3日)であった。
- (2) 患者紹介率
 - ・患者紹介率は医療法76.3%(前年度75.6%)、保険法70.0%(前年度69.6%)であった。
- (3) 諸官庁への届出・報告等
 - 1) 指定変更申請(関東信越厚生局)
 - ① 病床数変更に係る保険医療機関指定変更申請書 (2019年5月27日)
 - ② 標榜科変更に係る保険医療機関指定変更申請書 (2019年12月21日)